

<p>第26号 平成23年1月</p>	<p>もう一つの道 情報は、うのみにせず、注意深く徐々に試してください。</p>	<p>山田整骨院 熊本市出水4 - 25 - 1 096-364-7611 http://yamadasu.com/ E-mail:yamadasu@opal.ocn.ne.jp</p>
-------------------------	---	--

温 故 知 新

年の初めに当たり、古きをたずねて新しきを知ること、真理に迫ってみたいと思います。

西会会報昭和21年3月発行

本の表紙に故仙波知氏の自筆で、敗戦後第一号の記述がありました。
表紙裏の本部通信：ポツダム宣言受諾後の日本の新出発に際し、本会より第八卷第十一号を発行し、健康報国に貢献し得るを全国西会員の各位と共に欣快に存じます。旺盛なる体力を培ひ熾烈なる気力を養って再建日本の基礎となって参りましょう。

巻頭言

四年に亘る戦争で、日本は完全に破壊しつくされた。形而上も、形而下も。之が再建は容易なことではない。心身共に健強なる西信奉者に依りてのみ可能なのだ。諸君の奮起を促したい。会員中にも多数の戦死傷者や、戦災者があると思ふ。誠にお気の毒にたへない。謹んで御見舞申し上げる。

西会も生まれて茲に二十年、大変な病弱で昨年遂に瀕死の重態となった。然し西健康医学の真髓を発揮して一命をとり止めるのみか、一大発展の礎石を据えた。一陽来復、新生日本の再建と共に大飛躍を期待せられる。

戦争に負け、国内の不安は極度に募る。思想に、政治に、経済に、衣食住に。之を救ふ、正に西式だ。その各般の布石は着々進行中だ。刮目して待たたい。

連載

腹の健康(十八).....西勝造

症状即療法論(一)...西勝造

編集後記：国を挙げて衣食住におびやかされている。食糧不足は.....栄養失調になって居る.....之に引きかえ西会員は生食の体得に依って、まかり違えば生野菜食のみなれば一日に三百匁ないし三百五十匁(注：1.1kg~1.3kg)、又は生玄米一合に生野菜八十匁~百十匁(0.3kg~0.4kg)が手に入ればよいと、自若として大悟して居るから食糧不足の声に慌てない。真理を把握した人間は強い。

西会会報昭和21年4月発行

巻頭言：先生が此健康法を発表せられてから既に二十年の歳月が流れた。而かも今後何年かかったら基の全部が完結するかを知らない。初めはその余りにも奇想天外の学説に或は瞠目し、或は無知なるが故に之を一笑に附せむとし、或はその適確なる効験に恐怖を感じ作爲的に之を絶滅せむとしてあらゆる手段が講ぜられた……………。

世は挙げて原子時代となった。軍事より出発して、運輸、交通、動力、文化とその今後の発展が期待される。併し先生が既に数年来唱導せられて居る生食の原理が此原子力の応用であると言うことに気の付いた人は少ないであろう。先生の規定せられた3000匁乃至3500匁の生野菜食を火食に換算すれば550カロリーにしかならないが、之が日本人平均所要の2500カロリーに匹敵すると云う事実は、原子力を考慮に入なくては了解できないことである……………。

連載

腹の健康(十九)……西勝造

体験三つ……………小屋壽

結核に生食療法 自家中毒に生食療法

卵巣のう腫に合掌合蹠とリーベンシュタインの運動

質疑応答(疥癬の療法)……指導部

ま と め

既にお知らせしましたように、昨年(昭和)の11月に、昭和初期以来の西医学関連の書籍、雑誌を多数お預りしました。西勝造先生ご存命中は西会の活動は隆盛だったのですが、お亡くなりになってから衰退の一途をたどり、現在は数ある健康法の一つとしか見なされない程になっています。西勝造先生が研究して創始された西医学は医学の革命に匹敵するもので、保健、医療、予防が確立していて、世界の人々に貢献できるものです。多くの悩める人々、これから健康な子供を産もう、育てようとする人々にしっかりした指針を示すことができます。より多くの人に、より多くの機会を作って西医学を紹介していきたいと思っています。

今回は終戦直後の西会会報を取り上げました。食糧難の時代に西式は大変役に立ったのではないかとの発想からでした。なにしろ西式の特色の一つが食べない健康法だからです。やはり予想どおりと云うか、超合理的な食事法が出ていました。生野菜食です。食糧難の時代、当時の西会会員が不安なく平然と生食している姿が目につかびます。

現在生食は難病対策の治療法として活用されています。ついでと云ってはなんですが、会報で敗戦直後の状況がよく分かり、西先生や会員の思いがひしひしと伝わってきました。